

# ふれあい情報

2021年1月18日(月)

第323号

■ 発行 日本退職者連合  
 ■ 発行人 野田那智子  
 ■ 連絡先 〒101-0062  
 東京都千代田区神田駿河台3-2-11

<TEL> 03-5295-0507

<FAX> 03-5295-0541

<e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

## 第204回通常国会に向けた

### 2021年重点要求を提案

#### 第5回三役会開催。第3回幹事会は書面審議

退職者連合は、1月13日(水)11時から連合本部3階会議室にて第5回三役会を開催しました。

1都3県に、2度目の緊急事態宣言が発出されたなか、新年初めてとなる三役会の冒頭、人見会長は問題意識を次のように明らかにしました。

#### 命を守る行動が大切

「新型コロナウイルスは、日本においても増加しており、世界で9000万人以上

が感染し、まもなく200万人に至ると報道されています。しかしながら、これは調査ができるところでの公表であり、実際にはもっと多くの方が感染して亡くなっています。

WHOの発表によると、ワクチンは、世界人口の4分の1の20億人分ほどしか確保できていないと言われ、今年中に新型コロナウイルスが落ち着くことはないのではないかと思っ

ています。私たち高齢者はリスクが高いといわれていますが、『感染しない』、『感染させない』ということを心がけ、自らの命を守っていくことが大切になりま

す。」と述べ、感染症対策についての意識を高めると同時に、取り組みの強化を訴えました。

#### 増大する世界リスク

「来週にはトランプ大統領からバイデン大統領に変わりますが、アメリカの民主主義が守られ、政権交代が順調に行われることを願っています。しかしながら、アメリカの分断化や政治の不安定化は深刻です」との懸念を伝え、感染症のパンデミックや気候温暖化の高まりなどのリスクを訴えかけました。

#### 高齢者が大切にされる政治

「任期が10月21日に迫っている衆議選。野党の支持率は依然低いままですが、私たちが求める高齢者が大切にされる政治を求めて取り組んでいく必要があります」と述べ、組織の強化・拡大については、「コロナ禍のなか、いろいろと困難なことがあるかと思いますが、今年は結成30周年ということもあり、100万人の目標達成に向けて強化していかなければなりません」とその取り組み強化への理解を求めました。

最後に、「1月22日には、

核兵器禁止条約が発効します。これは本当に意義のあることだと思います。核保有国への圧力となる政治的働きかけのよい機会にしていきたい」と述べました。

挨拶に引き続き、承認事項では幹事の織田等氏から田辺和司氏(四国ブロック代表)の交代を確認しました。

報告事項は、後期高齢者医療費窓口2割負担に関する談話などが提案され、協議事項は、第204回通常国会に向けた政策・制度要求内容などが提案され、すべて全員一致で承認されました。

尚、三役会では、新型コロナウイルス対策について「PCR検査数が少なく、ワクチン接種の対応が遅れている。政府は先手、先手の対応が全くと安全性のバランスも必要」との意見が上げられ、ワクチンの有効性や副作用の有無なども含め、緊急事態宣言下では、強力な感染症対策や的確なメッセージが求められています。



# 第204回通常国会に向けた「2021年重点要求」

らさないような配慮措置の継続・拡大を着実に実施すること。

## 第1回政策委員会の確認に基づき、第24回定期総会で決定した「2020年度政策・制度要求」

の中から重点項目を選択し、新型コロナウイルス感染症拡大への対策強化の観点から内容を補強しました。

1 雇用改善  
良質な雇用の安定と拡大を図ること。  
低所得高齢単身女性を生み出している雇用における男女の不平等をなくすこと。  
エッセンシャルワーカーの雇用労働条件の改善に努めること。

2 年金保険  
基礎年金保険料の拠出期間を40年から45年(20歳65歳)に延長すること。  
COEにより続発する異常気象災害防止の観点からも「責任投資」の署名団体としてさらにこれを推進すること。

3 地域包括ケアネットワーク  
街づくりと一体で、緊急事態にも対応可能なケアネットワークを実現すること。

4 医療保険制度  
後期高齢者の医療費窓口負担で単身世帯年収200万円以上を2割としたことは、「最小限度」の範囲を逸脱している。受診回避による健康悪化や生活困窮をもた

## 2 年金保険

5 介護保険制度  
介護離職ゼロのため全産業平均を大きく下回る介護職員の賃金改善をすること。

6 税制(略)

7 コロナ禍における貧困・低所得者対策  
単身高齢者の生活支援のための福祉支援体制の整備を図ること。

(ホームページに全文掲載しています)

## コロナ禍の対応に関するアンケート調査報告

日本退職者連合は、コロナ禍のなか、その活動実態を把握し、問題点や改善点を検証し今後の参考とするために、2020年11月4日〜12月14日の間、産別退連と地方退連を対象に調査しました。

定期総会や幹事会は書面審議が多く、幹事会や高齢者集会は、3密対策を行っての開催や中止となっていました

た。レクレーションやサークル活動は、野外にかかわらず、接触をさけるため中止を余儀なくされ、要請行動は、コロナ禍の自治体対策要求をくわえて要請しているのが目立ちました。コロナ禍での活動は、コミュニケーション不足が孤立を招いており、連帯を求める意見・要望が多く寄せられました。

(ホームページに全文掲載しています)

## 早川行雄副事務局長が、労働ペンクラブ賞を受賞

2020年度の『日本労働ペンクラブ賞』の授与式は、2021年1月12日(火)に東京・日比谷の日本プレス・センターで行なわれました。代表の山田計一氏から祝辞とともに賞状と記念のクリスタル杯が贈られました。

受賞した早川副事務局長は、「望外の光栄であります。資本主義の下で私たちは幸福になることができるのか。この素朴で根源的な疑問を共通の分析視点として構成しています。資本主義を問い直す議論に、本書が多少なりとも役に立てればこれに勝る喜びはありません」と挨拶しました。



## 日本退職者連合結成30周年記念

### 第1回30周年史編集委員会を開催

日本退職者連合は、連合の旗のもとに、1991年11月20日、「日本高齢・退職者団体連合」(略称:退職者連合)の名称で結成しました。その後、2015年7月15日、現在の「日本退職者連合」へと名称変更しました。今年で30周年を迎えるため、第1回30周年史編集委員会を1月13日(水)三役会議終了後に開催しました。編集委員会の委員長は宮園哲郎副会長。30周年によせる各界からの寄稿や退職者連合がめざすものをアピールとして発表することなどを確認しました。

羽田雄一郎参院議員(立憲民主党・参議院幹事長)が、12月27日に急逝されました。享年53歳。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。